

# 外国語活動の研究

(平成28・29年度市教育委員会研究指定)

## 研究テーマ

「魅力ある外国語活動」～中学校との連携をいかして～

## 研究の内容

### ①【授業づくり】

- (1) 授業のめあて (Today's Goal) を明確にし、ふりかえりを毎時間行う。  
主体的な活動ができるプログラムづくり、プリントづくりを工夫したり、会話シールをはるなどして興味関心を高めている。
- (2) 児童向けのたより「Enjoy English」を発行、授業を補完するとともに、興味関心をよびおこす。
- (3) 指導案や教材を保管して今後活用できるようにするとともに、常に改良を考えている。

### ②【研究授業】

積極的に授業を公開し、できるだけ外部講師の指導助言をうけた。

### ③【研修】

講師を招いて校内研修をしたり、先進校を視察したりして研究を深めた。

大阪樟蔭女子大学教授・菅正隆先生を招いて研修を行った。

演題：「これからの外国語活動について」(平成28年12月5日)

演題：「新学習指導要領における外国語活動・外国語」(平成29年12月11日)

### ④【小・小連携】

- (1) お互いの研修に参加した。

(2) 両校の担当者、専科加配、市教委担当者による合同会議を定期的を開催し、情報交換や今後の活動の進め方について協議している。

#### ⑤【中学校との接続】

(1) 本校卒業生のほとんどが通う喜志中学校の1年生に、外国語活動と中学英語に関連するアンケートを実施。小学校での活動をふりかえってもらった。

(2) 中学校英語を意識した指導案づくりをすすめた。

(3) 中学校を理解する校内研修（英語に限らず、学力向上や生徒指導、進路など幅広い内容）をしたり、情報交換を密におこなったりした。

#### ⑥【保護者啓発】

大阪府立富田林高等学校長・蛭田勲先生を招いて保護者対象の講演会を開き、外国語活動（教科としての外国語）のねらいや今後のうごき、保護者としての心構えについて話をしてもらった。（保護者約80名参加）

演題：「小学校外国語活動の今、そして今後

一言葉をつなぎ、心を育む外国語教育」

#### ⑦【教育委員会との連携】

定期的に「英語教育推進代表者会議」を開き、小・中学校と市教委が連携をとった。

#### ⑧【成果の全校化】

外国語活動の研究が高学年任せにならないよう、その成果を学校全体のものとするよう工夫した。

(1) 「外国語活動通信」を教員むけに発行し、高学年の授業のようすや先進校の取り組み等を紹介した。

(2) 夏の校内研修で、高学年から取り組みの成果や課題を発表した。